

サービス概要

▼ 債権情報照会(開示)

No.	取引名	内容
1	債権情報照会	<ul style="list-style-type: none"> 発生および保有している債権の記録事項・提供情報の照会(開示)をします。 一括予約照会(非同期)の請求結果ファイル(CSV形式/共通フォーマット形式)をダウンロードします。

▼ 記録請求

No.	取引名	内容
1	債権発生請求(債務者請求)	<ul style="list-style-type: none"> 債務者として債権の発生記録(発生予約)を行います。 債務者として予約中の発生記録請求の取消を行います。 債権者として受領した債権の取消を行います。(発生日を含む5営業日以内)または、予約中の発生記録請求の取消を行います。
2	債権発生請求(債権者請求)*	<ul style="list-style-type: none"> 債権者として債権の発生記録(発生予約)を行います。(相手方からの承諾回答が必要) 債権者として予約中の発生記録請求の取消を行います。
3	債権譲渡請求	<ul style="list-style-type: none"> 保有する債権の譲渡記録・分割記録を行います。 譲渡人として予約中の譲渡記録・分割記録の取消を行います。 譲受人として譲り受けた債権の取消を行います。(譲渡日を含む5営業日以内)または、予約中の譲渡記録・分割記録の取消を行います。 分割記録は譲渡記録と一体として取り扱うことができ、分割記録単独での請求は行えません。 債権譲渡請求には原則として、保証(保証記録)が付きまます。なお、オプションにより保証をつけない債権譲渡請求も可能です。*
4	債権一括請求	<ul style="list-style-type: none"> 一括して記録請求を行うためのファイルを登録します。(一括請求が可能な記録は、発生記録(債務者請求)、発生記録(債権者請求)、譲渡記録・分割記録) 登録したファイルの請求結果を照会します。

▼ 融資申込

No.	取引名	内容
1	割引申込 *	金融機関に債権の割引を申し込みます。
2	照会 *	融資申込状況を照会します。

▼ その他請求

No.	取引名	内容
1	変更記録	債権の削除または記録内容の変更を行います。(相手方からの承諾回答が必要)
2	保証記録	債権者として債権に対する保証記録を依頼します。(相手方からの承諾回答が必要)
3	支払等記録	<ul style="list-style-type: none"> 口座間送金決済以外で利用者間の決済を行った場合に、支払等記録を行います。 支払等記録請求には、支払を行ったことによる記録請求と、支払を受けたことによる記録請求があります。(支払を行ったことによる記録請求の場合、相手方からの承諾回答が必要)

▼ 管理業務

No.	取引名	内容
1	取引履歴照会	<ul style="list-style-type: none"> 過去の取引を照会します。 取引履歴ファイル(テキスト形式)をダウンロードします。
2	操作履歴照会	<ul style="list-style-type: none"> 操作履歴を照会します。 操作履歴ファイル(CSV形式)をダウンロードします。
3	指定許可管理 *	取引を許可する取引先制限について登録/変更/解除を行います。
4	取引先管理	取引先の登録/変更/削除/照会を行います。
5	利用者情報照会	利用者情報を照会します。
6	ユーザ情報管理	ユーザ情報の変更/更新/照会/承認パスワード変更を行います。

* …利用申込時のオプション

取扱日・取扱時間

1. 取扱日

平日(月～金)・休日(土・日・祝日)

ただし、休止日を除きます。

休止日、毎月第2土曜日、年末年始(12月31日～1日3日)、5月3日～5日

2. 取扱時間

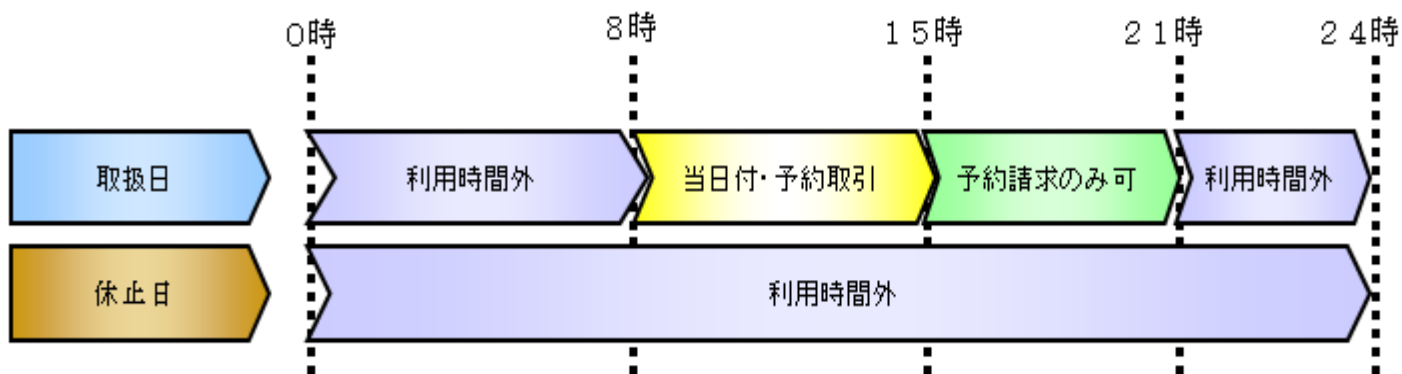
平日・休日 ともに 8時～21時

ただし、15時～21時は予約請求

(諾否回答、取消請求含む)のみとなります。

※全国の参加金融機関が共通でサービスを提供する時間帯は、平日(金融機関営業日)9時～15時です。

相手金融機関によっては、この時間帯(平日9時～15時)以外にご利用できないことがあります。

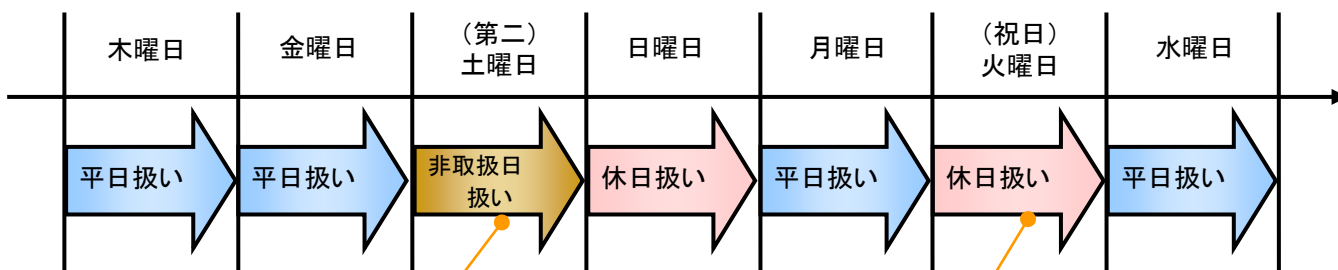


ご注意事項

※1：利用時間外にユーザがログインをした場合、または既にログイン中のユーザが、利用時間外になってから操作した場合、利用時間外の旨のエラーを表示し取引はできません。

◎ 取扱日のイメージ

例：火曜日が祝日の場合、火曜日は休日扱いの利用時間帯となります。



第二土曜日は、非取扱日となります。

火曜日は祝日のため、休日の利用時間帯となります。

動作環境

▶ 動作環境について

電子記録債権の利用にあたり、推奨する動作環境をご案内します。*1

1. ハードウェア環境

対象	スペック
パソコン本体装置	IBM PC/AT 互換機、Macintosh
(CPU)	下記『2. ソフトウェア環境』で規定する各種ソフトウェアの必要スペックを充足するもの
(メモリ)	
マウス	パソコン本体装置に対応しているもの
キーボード	英数字・記号・日本語入力可能なもの
ディスプレイ	1024×768ドット以上の画面解像度を推奨
プリンタ装置*2	A4 の用紙が印刷可能な装置

2. ソフトウェア環境

対象	ソフトウェア
OS	Microsoft Windows、 MacOS
ブラウザ	Internet Explorer、Safari、 Firefox
PDF 閲覧用ソフト	Adobe Reader
メール閲覧用ソフト	任意
CSV 加工用ソフト	任意*3

3. OS／ブラウザの種類OS／ブラウザの種類および動作確認が取れているOS／ブラウザの組み合わせ

OS	Internet Explorer
Windows Vista／SP2 (32bit 版／64bit 版)	9.0
Windows 7／SP1 (32bit 版／64bit 版)	11.0
Windows 8.1 (32bit 版／64bit 版)	11.0
Windows 10 (32bit 版／64bit 版)	11.0

ご利用可能なOS／ブラウザ(企業向けの端末推奨環境)は、動作確認が取れた場合、最新のものを随時以下のURLに掲載しております。

【URL】

・電子証明書方式：<http://www.shinkin.co.jp/kyotu/densai/kankyo/cl/index.html>

① ご注意事項

※1 : 上記内容については動作確認済を意味するものであり、動作環境を保証するものではありません。

※2 : 帳票の印刷を利用しない場合は不要です。

※3 : 接続する端末で CSV ファイルをアップロード・ダウンロードするために、ファイルを作成または二次加工する場合に必要です。

ご利用料金

1. 基本手数料

中信でんさいサービスについては、基本手数料は無料です。

ただし、中信ビジネスWebサービスの基本手数料は必要となります。

2. 取引手数料(税込・取引1件あたり)

手数料種類	区別	金額
取立手数料	当店	220 円
	他店	220 円
	他行	220 円
割引取立料	当店	220 円
	他店	220 円
	他行	220 円
発生記録(債務者請求方式)	インターネット	220 円
発生記録(債権者請求方式)	インターネット	220 円
譲渡記録 ※1	インターネット	220 円
分割記録 ※1	インターネット	220 円
保証記録	インターネット	220 円
支払等記録	インターネット	220 円
変更記録	インターネット	220 円
発生記録(債務者請求方式) ※2	窓口(書面)	2,200 円
発生記録(債権者請求方式)	窓口(書面)	2,200 円
譲渡記録 ※1	窓口(書面)	2,200 円
分割記録 ※1	窓口(書面)	2,200 円
保証記録	窓口(書面)	2,200 円
支払等記録 ※2	窓口(書面)	2,200 円
変更記録 ※2	窓口(書面)	2,200 円
残高証明書(都度発行方式)	窓口(書面)	4,400 円
残高証明書(定例発行方式)	窓口(書面)	2,200 円
通常開示	窓口(書面)	2,200 円
特例開示	窓口(書面)	2,200 円
でんさい割引買戻料	窓口(書面)	880 円
でんさい割引組戻料	窓口(書面)	880 円
その他の手数料	窓口(書面)	2,200 円
特定記録機関変更記録	窓口(書面)	4,400 円

※1 でんさい割引に係るものは無料です。

※2 でんさい貸付に係るものは無料です。

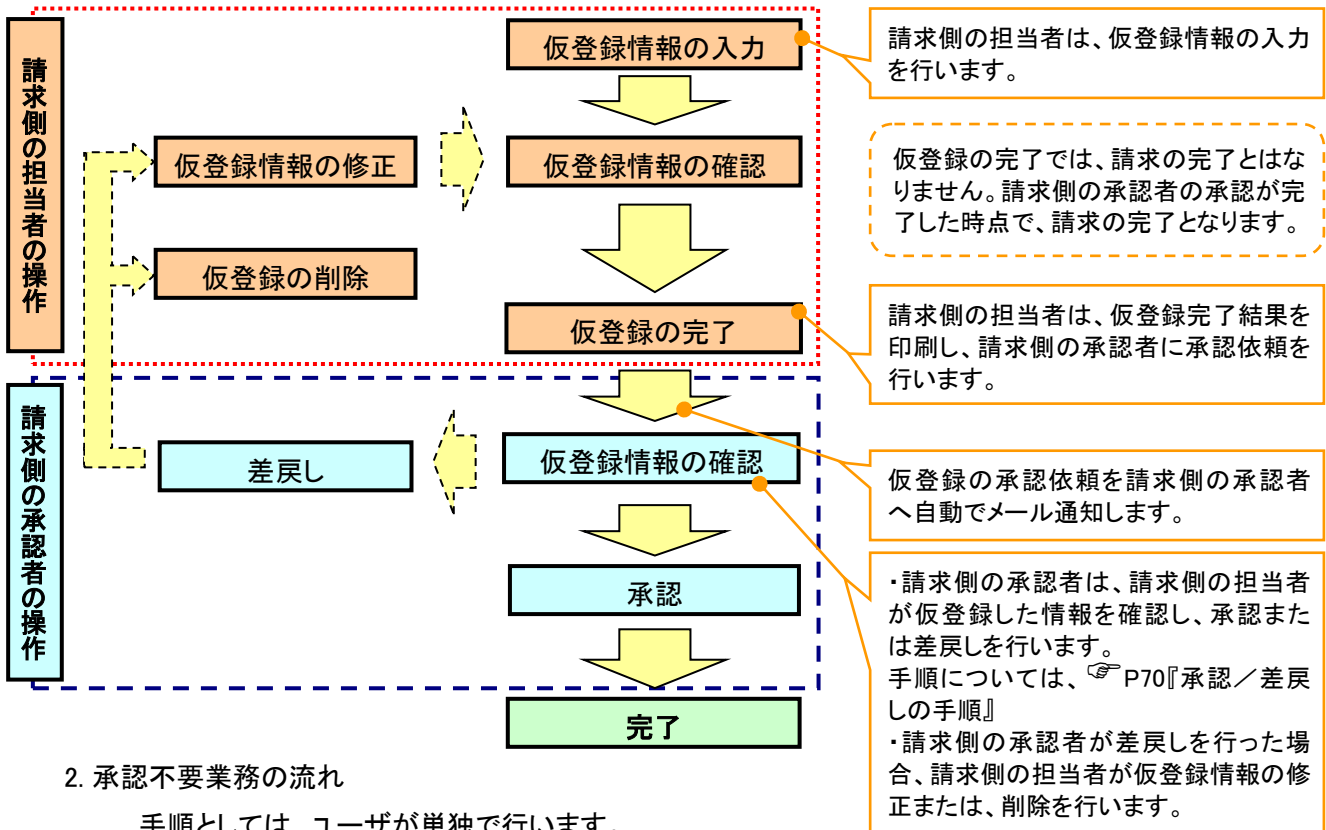
取引の流れ

- 電子記録債権取引の流れには、1.承認対象業務、2.承認不要業務と、3.承諾対象業務の3種類があります。
- 承認対象業務とは、請求側の担当者による仮登録と、請求側の承認者による承認の2段階の確認を経て実行する業務のことです。
- 承認不要業務とは、担当者／承認者の区別がなく、ユーザ単独で実行できる業務のことです。
- 承諾対象業務とは、承認対象業務において承認を経た後、被請求側の担当者による承諾／否認の仮登録と、被請求側の承認者による承諾／否認の承認の4段階の確認を経て実行する業務のことです。

1. 承認対象業務の流れ

手順としては請求側の担当者が仮登録を行い、その後、請求側の承認者が仮登録内容の承認を行います。

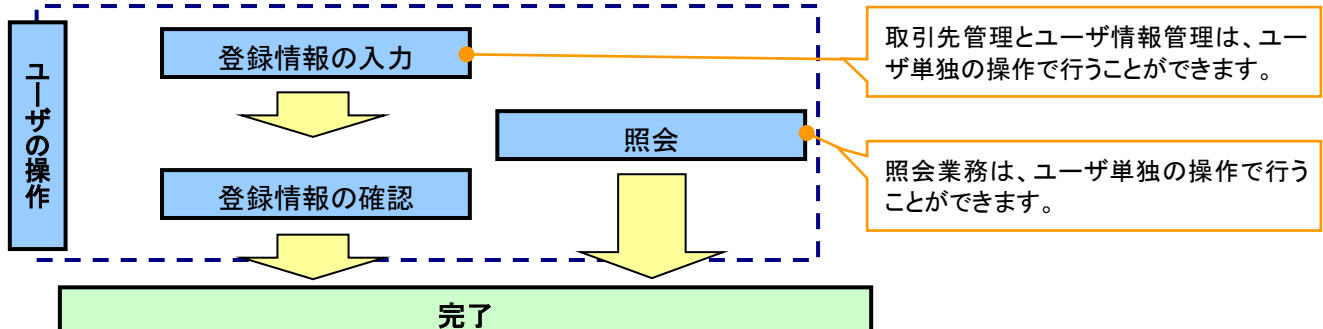
記録請求・融資申込(割引申込、譲渡担保申込)・その他請求・管理業務(指定許可管理)が、承認対象業務に該当します。



2. 承認不要業務の流れ

手順としては、ユーザが単独で行います。

債権情報照会(開示)・融資申込(照会)・管理業務(取引履歴照会、操作履歴照会、取引先管理、利用者情報照会、ユーザ情報管理)は承認不要業務に該当します。



3. 承諾対象業務の流れ

手順としては承認対象業務の承認を経た後、被請求者側の担当者が仮登録を行い、その後、被請求者側の承認者が仮登録内容の承認を行います。
債権発生請求(債権者請求)・変更記録・保証記録・支払等記録(支払を行ったことによる記録請求)が、承諾対象業務に該当します。

